

## 0.1 H22 数学選択

[A] (1)  $\mathbb{Z}[x]$  上で 2 が  $\mathbb{Z}$  の素元であるからアイゼンシュタインの既約判定法より  $x^2 - 2$  は既約である.  $\mathbb{Q}$  が  $\mathbb{Z}$  の商体であり  $\mathbb{Z}$  が UFD であることから,  $\mathbb{Z}[x]$  上の既約性と  $\mathbb{Q}$  上の既約性が同値であることから  $x^2 - 2$  は  $\mathbb{Q}[x]$  上既約である.

したがって  $[\mathbb{Q}(\sqrt{2}) : \mathbb{Q}] = 2$  である.

$x^3 - 3$  も同様に既約. よって  $[\mathbb{Q}(\sqrt[3]{3}), \mathbb{Q}] = 3$  である.

(2)  $x^2 - 2$  は  $\mathbb{Q}[\sqrt[3]{3}]$  上既約である. もし可約なら  $\mathbb{Q}(\sqrt{2}) \subset \mathbb{Q}(\sqrt[3]{3})$  となり  $\mathbb{Q}$  上拡大次 2 の中間体を含むがこれは  $[\mathbb{Q}(\sqrt[3]{3}) : \mathbb{Q}]$  が 3 次であることに矛盾.

よって  $[F : \mathbb{Q}(\sqrt[3]{3})] = 2$  より  $[F : \mathbb{Q}] = 6$  である.

(3)  $L = \mathbb{Q}(\sqrt{2}, \sqrt[3]{3}, \zeta_3)$  ( $\zeta_3 = e^{\frac{2\pi i}{3}}$ ) である. これは  $x^3 - 3$  の根が  $\zeta_3^i \sqrt[3]{3}$  ( $i = 0, 1, 2$ ) であり  $\zeta_3 = \zeta_3 \sqrt[3]{3} / \sqrt[3]{3}$  であることからわかる.

$[\mathbb{Q}(\zeta_3) : \mathbb{Q}] = 2$  である.  $L = F \cdot \mathbb{Q}(\zeta_3)$  である. また  $\mathbb{Q}(\zeta_3) \cap \mathbb{R} = \mathbb{Q}$  より  $F \cap \mathbb{Q}(\zeta_3) = \mathbb{Q}$  である. よって  $[F : \mathbb{Q}] = 12$  である.